第６４回需給調整市場検討小委員会・
第８１回調整力の細分化及び広域調達の
技術的検討に関する作業会　参考資料１

需給調整市場検討小委員会における議論の方向性と整理

２０２６年１１月５日

需給調整市場検討小委員会　事務局
調整力の細分化及び広域調達の技術的検討に関する作業会 事務局

（参考）需給調整市場の商品導入スケジュール

<table>
<tr><th colspan="2">年度</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2027</th><th>2028以降</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一次</td><td>運用</td><td colspan="9">広域運用
（周波数変換装置を含む直流設備を除く）</td></tr>
<tr><td>調達</td><td colspan="5">調整力公募</td><td colspan="2">▼広域調達開始
広域調達（週間）</td><td colspan="2">広域調達（前日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一次①</td><td>運用</td><td colspan="7">エリア内運用</td><td colspan="3">▼広域運用開始
広域運用</td></tr>
<tr><td>調達</td><td colspan="5">調整力公募</td><td colspan="2">▼調達開始
エリア内調達（週間）</td><td>エリア内調達
(前日)</td><td colspan="2">▼広域調達開始※
広域調達（前日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一次②</td><td>運用</td><td colspan="3">エリア内運用</td><td colspan="6">▼広域運用開始
広域運用</td></tr>
<tr><td>調達</td><td colspan="5">調整力公募</td><td colspan="2">▼広域調達開始
広域調達（週間）</td><td colspan="2">広域調達（前日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">三次①</td><td>運用</td><td>段階的
広域運用</td><td colspan="8">▼広域運用開始</td></tr>
<tr><td>調達</td><td colspan="2">調整力公募</td><td colspan="5">▼広域調達開始
広域調達（週間）</td><td colspan="2">広域調達（前日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">三次②</td><td>運用</td><td>段階的
広域運用</td><td colspan="8">▼広域運用開始
広域運用</td></tr>
<tr><td>調達</td><td>調整力
公募</td><td colspan="8">▼広域調達開始
広域調達（前日）</td></tr>
</table>

※一般送配電事業者による二次①の広域運用が実現可能となったうえで、2027年度からの広域調達を目指す

目次

1. 検討すべき課題の整理

2. 課題に対する論点整理

3. 需給調整市場の応札不足対応

（参考）要件変更等のスケジュール

目次

1．検討すべき課題の整理

2．課題に対する論点整理

3．需給調整市場の応札不足対応

（参考）要件変更等のスケジュール

需給調整市場における課題一覧【2026年度】

商品	No	課題	詳細
一次	1-1 1-2 1-3 1-4	広域調達 技術要件 参入要件 必要量	2027年度（二次①広域調達開始）以降の広域調達の在り方 技術要件（調定率）の見直し 一次オフライン参入要件の見直し 異常時一次必要量の見直し
二次①	2-1	広域調達	2027年度からの広域調達の検討
二次②			
三次①			
三次②	5-1	必要量	2026年度事後検証・2027年度事前評価および必要量低減の取り組み
複合商品	6-1	一次アセスメント	一次のみのアセスメント方法の検討
共通	7-1 7-2	専用線 再エネ活用	低コスト方式の拡大 将来の変動性再エネの調整機能の活用方法
応札不足	8-1 8-2 8-3	揚水発電 制度的措置 市場外調整力	揚水発電所の市場活用における課題整理（揚水公募等） 制度的措置に係る残論点の整理 市場外調整力の実態調査

需給調整市場における課題の検討スケジュール（2026年度以降）

年度	2026	2027	2028	以降
広域運用	二次①開始（＝全商品）			
広域調達	（二次①を除く全商品）	二次①開始（＝全商品）		
市場取引	全商品：前日取引化			次期中給/(同時市場)

2-1、5-1

【2027年度に向けた課題】

商品	No	課題
二次①	2-1	広域調達
三次②	5-1	必要量

※ 検討状況によっては2027年度以降も継続

<凡例>

小委における検討期限

関係個所での準備期間 （課題No）

【応札不足対応】

商品	No	課題
一次	1-2 1-3 1-4	技術要件 参入要件 必要量
応札不足	8-1 8-2 8-3	揚水発電 制度的措置 市場外調整力

※ 市場状況に応じて対応可否を検討

【2028年度以降に向けた課題】

商品	No	課題
一次	1-1	広域調達
複合	6-1	一次アセスメント
共通	7-1 7-2	専用線 再エネ活用

※詳細な検討期限なし

目次

1．検討すべき課題の整理

2．課題に対する論点整理

3．需給調整市場の応札不足対応

（参考）要件変更等のスケジュール

論点整理 [一次]

赤字：前回議論結果
青字：検討再開条件

課題		これまでの整理事項	小委における論点	小委での議論における方向性
1-1	1ルート連系エリアにおける広域調達可否と開始時期	✓ 交流連系されているエリアにおいて広域調達を実施 ✓ 将来的にはΔkWマージンを廃止する方向	✓ 取引実績（広域調達実績）を踏まえた一次ΔkWマージンの廃止時期の検討	
1-2	一次調整力の調定率技術要件の緩和		✓ GF機能を有しているリソースであるにも関わらず、調定率の要件が障壁となって、調整力として応札および活用されていないリソースが存在 ✓ 折れ線調定率を有するリソースの取り扱いの検討	✓ グリッドコードで調定率が定められる以前から系統連系していたリソースについては、原則外として要件を緩和する ✓ 整理した供出可能量の算定方法を用いて、折れ線調定率を有するリソースの応札を認める 【第62回 本小委員会（完了）】
1-3	一次オフライン枠参入要件の緩和		✓ 蓄電池のオフライン枠への参入要件として設備容量が定められたことで、制限を超過し調整力として有効活用出来ていない蓄電池が存在	✓ オフライン枠に対する設備容量上限が議論された2023年9月27日以前に、系統連系申し込みを完了していた1MW以上かつ特別高圧の蓄電池は、専用線オンライン敷設工事完了までの間、一次オフライン枠への参加を経過措置として認める 【第62回 本小委員会（完了）】
1-4	一次調整力の異常時必要量の見直し	✓ 一次調整力の事故時対応分は小さくできる可能性があるものの、見直しについては引き続き検討	✓ 電源脱落による周波数低下時に生じる、負荷の周波数特性に応じた需要減少を考慮した必要量の見直し適用の可否 ✓ 系統安定化システムを用いる60Hz系統への適用可否 ✓ 系統安定化システムの見直しにより検討再開	✓ 50Hz系統の東エリア3社（北海道、東北、東京エリア）において、需要減少を考慮した必要量の見直しを適用 【第62回 本小委員会（完了）】 ✓ 60Hz系統においては、GF量見直しに伴る系統安定化システムの動作への影響を懸念し、別途検討 【第62回 本小委員会】

論点整理 [二次①]

赤字：前回議論結果
青字：検討再開条件

課題	これまでの整理事項	小委における論点	小委での議論における方向性
2-1 2027年度からの広域調達に向けた検討	✓ まずは広域運用ができることを確認した上で広域調達を実施	✓ **広域LFCの試験運用を踏まえた広域調達の実施可否について**	✓ **広域LFCの試験運用の影響について、分析・評価の結果、広域LFCの実現と判断** ✓ **二次調整力①について、2027年度以降は広域調達を開始する** **【第63回 本小委員会（完了）】**

論点整理　[二次②、三次①]

赤字：前回議論結果
青字：検討再開条件

課題	これまでの整理事項	小委における論点	小委での議論における方向性

論点整理 [三次②]

赤字：前回議論結果
青字：検討再開条件

課題	これまでの整理事項	小委における論点	小委での議論における方向性
5-1 2026年度事後検証・2027年度事前評価および必要量低減の取り組み	✓ アンサンブル予測 ✓ 効率的な調達 ✓ 30分化取引化	✓ 更なる気象精度向上の取り組み ✓ 更なる必要量低減の取り組み （信頼区間幅を活用した手法の検討）	

論点整理 [複合商品]

課題	これまでの整理事項	小委における論点	小委での議論における方向性
	✓ 一次を含めて許容範囲を設定	✓ 複合された応動から一次の応動のみを切り出したアセスメントの方法	
6-1 一次のみのアセスメント方法の検討			

論点整理 [共通]

赤字：前回議論結果
青字：検討再開条件

課題		これまでの整理事項	小委における論点	小委での議論における方向性
7-1	低コスト方式の専用線の拡大可否	✓ 10MW未満かつ上位2電圧以外は電柱方式可	✓ 電柱方式の拡大	
7-2	将来の変動性再エネ調整機能の活用方法	✓ 変動性再エネの調整機能の活用を目指す ✓ 対象は市場連動型のFIP電源	✓ 技術面の課題 ✓ 制度面の課題（市場への応札）	

論点整理 [応札不足]

赤字：前回議論結果
青字：検討再開条件

課題		これまでの整理事項	小委における論点	小委での議論における方向性
8-1	揚水発電所の市場活用における課題整理	✓ 揚水公募量の控除方法やポンプアップ原資の確保方法の対応案の整理	✓ 契約価格の在り方 ✓ 池全体の水位管理の在り方 ✓ 揚水随契の取扱い	
8-2	制度的措置に係る残論点の整理	✓ 制度的措置に関する基本的な考え方や個別論点を整理（技術面の検討） ✓ 2026年4月からの導入は見送る方向【第103回TF】	✓ 誘導的措置の検討漏れ確認 ✓ 将来シナリオ想定 ✓ システム改修等費用の回収可否 ✓ 今後の市場状況等により導入検討再開【第103回TF】	
8-3	市場外調整力の実態調査	✓ 26年度以降の取引環境の変化を踏まえた、自然体余力の実態について調査	✓ 26年度の前日取引化と取引時間の30分コマ化の市場環境の変化を踏まえて、自然体余力が端境期、重負荷期それぞれの期間においての状況について調査。	

目次

1. 検討すべき課題の整理

2. 課題に対する論点整理

3. 需給調整市場の応札不足対応

（参考）要件変更等のスケジュール

需給調整市場の応札不足対応一覧（１／３）

■ 需給調整市場の応札不足対応に関しては、関連する審議会とも連携しながら、様々な対策を検討、実施している。

■ これらについては全体像が複雑に絡み合っているため、前日取引化や、今後の需給調整市場に関する大きな変化（次期中給システムや同時市場の導入）も踏まえ、暫定的な対策か、恒久的な対策か、また、時間が経てば解決する性質の課題かといった観点も踏まえて、下表のとおり整理を実施した。

全商品の前日取引化　　次期中給／(同時市場)

対策	取組事項	詳細取組	想定されうる効果	審議会	2024	2025	2026	2027	・・・	備考
募集量の削減	A.調達募集量の見直し	A-a.一定割合による圧縮（三次②）	調整力の調達未達抑制	【決定】第93回TF	2024年6/1～※					一定の競争原理が働く状態になるまでは継続予定
		（付随）二次②・三次①の追加調達一時中断	前日募集量削減による三次②価格の高騰抑制	【決定】第91回TF	2024年5/1～					前日取引化後は追加調達の概念はなくなる
		A-b.市場外調整力の控除	調整力の調達未達抑制	-【決定】-第56回本小委						建付けとしては、他案と両立し得る対策(一旦前日取引化まで)
		A-c.三次②の効率的調達（必要量低減施策）	〃	【決定】第94回TF	2024年7/1～					同時市場移行後も取り得る考え方
		A-d.複合市場商品の募集量上限(1σ統一)	〃	【決定】第110回TF			2026年度～			今後の市場状況により上限緩和もあり得る
	B.揚水発電の公募調達	B-a.揚水公募の検討（運用主体をTSO）	①市場募集量の控除 ②TSOが市場に応札	-検討中-第94回TF		①前日取引化以降は②が望ましいか				随意契約の効果や同時市場制度との連続性踏まえ検討中
		B-b.揚水等随意契約	市場募集量の控除	【決定】第94回TF	2024年7/20～					揚水以外にも要件を満たすものは認める方向

※ 2024年11月以降、新たな削減係数の考え方に見直し（第97回TF）

需給調整市場の応札不足対応一覧（２／３）

■ 応札量の増加に関しては、2026年度からの前日取引化により、一定の応札量増加が確認されているが、現時点で全商品の応札不足を解消するには至っておらず、今後、事業者ヒアリングも踏まえつつ対応策を検討していく。

全商品の前日取引化　　次期中給／(同時市場)

対策	取組事項	詳細取組	想定されうる効果	審議会	2024	2025	2026	2027	・・・	備考
応札量増加（誘導的）	C. 価格規律の見直し	C-a.起動費取り漏れ分の事後精算※ ※持ち下げ供出時におけるΔkW価格算定の検討も含む	需給調整市場への応札インセンティブの増加	【決定】第3回制度監視		2025年度～				2026前日取引化で解決が見込めるものではない
	D.一次・二次①に関する並列必須条件の見直し	D-a.TSOによる代替ΔkW確保	揚水リソースの一次・二次①への供出障壁緩和	【決定】第94回TF						前日取引化後もアセスメント違反や計画不一致リスクは一定程度残り得るため施策継続（第108回TF）
		D-b.TSOによる揚発並列	〃	【決定】第94回TF						
	D'.複数ユニット持ち下げ供出リスク対策	D'.一次・二次①が含まれる商品のアセスメント緩和	一次・二次①の供出インセンティブの増加	【決定】第52回本小委						2026前日取引化で解決が見込めるものではない
応札量増加（規制的）	E.需給調整市場における制度的供出義務化	E.制度的措置の検討	応札量の増加	-検討中-第103回TF			市場状況等に応じて検討再開			2026年4月からの導入は見送る方向（技術的な検討は概ね完了）

需給調整市場の応札不足対応一覧（３／３）

■ 価格面（上限価格）の対応や、その他の取組事項については下表のとおり。

■ これら（上限価格除く）は、調整力提供者目線で供出インセンティブ拡大となる（応札不足解消に資する）だけでなく、一般送配電事業者による再エネ余剰時の運用改善（それに伴う再エネ出力制御量の低減等）にも資する取組みとなる。

全商品の前日取引化　　次期中給／(同時市場)

対策	取組事項	詳細取組	想定されうる効果	審議会	2024	2025	2026	2027	・・・	備考
価格面の対応	F.三次②上限価格設定	F. 上限価格設定	三次②価格の高騰抑制	-検討中- 第92回 TF						市場退出や前日取引化による応札の偏りに留意が必要
	F'.複合市場の上限価格設定	F'. 上限価格設定 （一次・二次①・複合商品）	取引商品価格の高騰抑制	【決定】 第110回 TF			2026年度～			今後の市場状況により上限値変更を判断
その他	異常時（電源脱落）対応	異常時対応調整力の商品要件の見直し	①市場を通じたポンプ応札の経済的な調達、運用（暫定対応からの昇級） ②EPPSの活用 ③需要減少量の控除	【決定】 ①第46回 ②第55回 ③第62回 本小委			①手動対応（ポンプ持ち替え） ②2025年 4/26分～ ③2026年 10/1分～	①システム対応（2026以降）		①再エネ余剰時は、異常時対応必要量に限り、ΔkW電源を停止し、ポンプを認可 ②固定600MW控除 ③東エリア3社適用
	GF機能と一次要件の考え方の乖離対策	一次供出可能量の見直し	①一次供出可能量の増加（調達量増加） ②調定率要件の見直し ③オフライン枠要件の見直し	【決定】 第49回 本小委			①2025年度～	②③2027年度～		①一次のアセスメントⅡの見直しも併せて実施 ②③規程改定後
	新規リソースの検討	変動性再エネの調整力活用	調整力供出量の増加	-検討中- 第56回 本小委			前日取引になれば、予測誤差が小さくなり、参入障壁も下がるか			調整力リソースとなれば同時市場でも活用可能

目次

1. 検討すべき課題の整理

2. 課題に対する論点整理

3. 需給調整市場の応札不足対応

（参考）要件変更等のスケジュール

2026年度以降の商品区分・要件について

■ 2026年以降の商品区分および要件は下表のとおり。

	一次調整力	二次調整力①	二次調整力②	三次調整力①	三次調整力②
英呼称	Frequency Containment Reserve (FCR)	Synchronized Frequency Restoration Reserve (S-FRR)	Frequency Restoration Reserve (FRR)	Replacement Reserve (RR)	Replacement Reserve-for FIT (RR-FIT)
指令・制御	オフライン（自端制御）	オンライン（LFC信号）	オンライン(EDC信号)	オンライン(EDC信号)	オンライン
監視	オンライン（一部オフラインも可※1）	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン
回線	専用線のみ（オフライン監視の場合は不要）	専用線のみ	専用線 または（簡易指令システム）	専用線 または簡易指令システム	専用線 または簡易指令システム
入札時間単位	30分※3	30分※3	30分※3	30分※3	30分
応動時間	10秒以内※4	5分以内	5分以内	15分以内	60分以内
継続時間	5分以上※4	30分※3	30分※3	30分※3	30分
並列要否	必須	必須	任意	任意	任意
指令間隔	－（自端制御）	0.5～数十秒	専用線：数秒～数分（簡易指令システム：５分）	専用線：数秒～数分 簡易指令システム：５分	30分
監視間隔	1～数秒※1	1～5秒程度	専用線：1～5秒程度（簡易指令システム：1分）	専用線：1～5秒程度 簡易指令システム：1分	1～30分※5
供出可能量（入札量上限）	10秒以内に出力変化可能な量（機器性能上のGF幅を上限）	5分以内に出力変化可能な量（機器性能上のLFC幅を上限）	5分以内に出力変化可能な量（オンラインで調整可能な幅を上限）	15分以内に出力変化可能な量（オンラインで調整可能な幅を上限）	60分以内に出力変化可能な量（オンラインで調整可能な幅を上限）
最低入札量	1MW	1MW	1MW	1MW	1 MW
刻み幅（入札単位）	1kW	1kW	1kW	1kW	1kW
上げ下げ区分	上げ／下げ※2	上げ／下げ※2	上げ／下げ※2	上げ／下げ※2	上げ／下げ※2

※1 事後に数値データを提供する必要有り
※2 現行は上げ区分のみ調達
※3 入札時間単位「30分」、継続時間「30分」に変更（2026年度より適用）
※4 オフライン監視の場合、応動時間「30秒以内」、継続時間「設定なし」
※5 30分を最大として、事業者が収集している周期と合わせることも許容

需給調整市場において予定されている要件変更とスケジュール（一次）

■ 今後、システム改修等を踏まえて要件等の変更を予定している点は以下のとおりです。
（青字：変更予定箇所、赤字：審議された需給調整市場検討小委員会の回数と資料番号）

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	時期未定※1
回線	–	専用線 （監視がオフラインの場合は不要）	専用線 （監視がオフラインの場合は不要）	専用線 （監視がオフラインの場合は不要）	同左	
商品ブロック	–	3時間	3時間	30分 37回資料2		
応動時間	–	10秒以内	10秒以内 （監視がオフラインの場合は30秒以内） 42回資料3	10秒以内 （監視がオフラインの場合は30秒以内）		
継続時間	–	5分以上	5分以上 （監視がオフラインの場合はなし） 42回資料3	5分以上 （監視がオフラインの場合はなし）		
指令間隔	–	– （自端制御）	– （自端制御）	– （自端制御）		
最低入札量	–	1 MW 37回資料5	1 MW	1 MW		
アグリゲーション（専用線）	–	ネガ/ポジ/ネガポジ※2	ネガ/ポジ/ネガポジ※2	ネガ/ポジ/ネガポジ※2		
アグリゲーション（簡易指令）	–	–	–			

※1 変更の方針が決まっているもののみ記載しており、適用時期が決まり次第、需給調整市場検討小委員会等で公表
※2 ポジ・ネガポジ型は、単体では最低入札量に満たないリソースをアグリゲートして市場に参入する場合のみ

需給調整市場において予定されている要件変更とスケジュール（二次①）

■ 今後、システム改修等を踏まえて要件等の変更を予定している点は以下のとおりです。
（青字：変更予定箇所、赤字：審議された需給調整市場検討小委員会の回数と資料番号）

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	時期未定※1
回線	–	専用線	同左	専用線	同左	
商品ブロック	–	3時間		30分 37回資料2		
応動時間	–	5分以内		5分以内		
継続時間	–	30分以上		30分 37回資料2		
指令間隔	–	0.5～数十秒 （エリア毎に異なる）		0.5～数十秒 （エリア毎に異なる）		1秒 （全エリア統一）※2 31回資料3
最低入札量	–	1 MW 37回資料5		1 MW		
アグリゲーション （専用線）	–	ネガ/ポジ/ネガポジ※3		ネガ/ポジ/ネガポジ※3		
アグリゲーション （簡易指令）	–	–		–		

※1 変更の方針が決まっているもののみ記載しており、適用時期が決まり次第、需給調整市場検討小委員会等で公表
※2 中給システムのリプレースに合わせた抜本改修後
※3 ポジ・ネガポジ型は、単体では最低入札量に満たないリソースをアグリゲートして市場に参入する場合のみ

需給調整市場において予定されている要件変更とスケジュール（二次②）

■ 今後、システム改修等を踏まえて要件等の変更を予定している点は以下のとおりです。
（青字：変更予定箇所、赤字：審議された需給調整市場検討小委員会の回数と資料番号）

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	時期未定※1
回線	–	専用線または 簡易指令システム	同左	専用線または 簡易指令システム	同左	
商品ブロック	–	3時間		30分 37回資料2		
応動時間	–	5分以内		5分以内		
継続時間	–	30分以上		30分 37回資料2		
指令間隔	–	数秒～数分 （エリア毎に異なる） 簡易指令：5分 26回資料3		数秒～数分 （エリア毎に異なる） 簡易指令：5分		専用線：5分 （全エリア統一）※2 31回資料3
最低入札量	–	1 MW 37回資料5		1 MW		
アグリゲーション （専用線）	–	–		–		ネガ/ポジ /ネガポジ※3, 4 26回資料3
アグリゲーション （簡易指令）	–	ネガ/ポジ /ネガポジ※4 19回資料3		ネガ/ポジ /ネガポジ※4		

※1 変更の方針が決まっているもののみ記載しており、適用時期が決まり次第、需給調整市場検討小委員会等で公表
※2 中給システムのリプレースに合わせた抜本改修後
※3 出力変化量による指令は、事業者からの申込み状況に応じた中給システム改修完了後に適用開始予定
実出力値による指令は、中給システムの抜本改修の際に、事業者ニーズを踏まえて検討（2027年度以降）
※4 ポジ・ネガポジ型は、単体では最低入札量に満たないリソースをアグリゲートして市場に参入する場合のみ

需給調整市場において予定されている要件変更とスケジュール（三次①）

■ 今後、システム改修等を踏まえて要件等の変更を予定している点は以下のとおりです。
（青字：変更予定箇所、赤字：審議された需給調整市場検討小委員会の回数と資料番号）

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	時期未定※1
回線	専用線　または 簡易指令システム	専用線　または 簡易指令システム	同左	専用線　または 簡易指令システム	同左	
商品ブロック	3時間	3時間		30分 37回資料2		
応動時間	15分以内	15分以内		15分以内		
継続時間	商品ブロック時間 (3時間)	商品ブロック時間 (3時間)		30分 37回資料2		
指令間隔	専用線： 数秒～数分 （エリア毎に異なる） 簡易指令：5分 29回資料5	専用線： 数秒～数分 （エリア毎に異なる） 簡易指令：5分		専用線： 数秒～数分 （エリア毎に異なる） 簡易指令：5分		専用線：5分 （全エリア統一）※2 31回資料3 簡易指令：5分
最低入札量	専用線　5 MW 簡易指令 1 MW	1MW 37回資料5		1 MW		
アグリゲーション （専用線）	－	－		－		ネガ/ポジ /ネガポジ※3, 4 26回資料3
アグリゲーション （簡易指令）	ネガ	ネガ/ポジ/ネガポジ※4 22回資料3		ネガ/ポジ/ネガポジ※4		

※1 変更の方針が決まっているもののみ記載しており、適用時期が決まり次第、需給調整市場検討小委員会等で公表
※2 中給システムのリプレースに合わせた抜本改修後
※3 出力変化量による指令は、事業者からの申込み状況に応じた中給システム改修完了後に適用開始予定
実出力値による指令は、中給システムの抜本改修の際に、事業者ニーズを踏まえて検討（2027年度以降）
※4 ポジ・ネガポジ型は、単体では最低入札量に満たないリソースをアグリゲートして市場に参入する場合のみ

需給調整市場において予定されている要件変更とスケジュール（三次②）

■ 今後、システム改修等を踏まえて要件等の変更を予定している点は以下のとおりです。
（青字：変更予定箇所、赤字：審議された需給調整市場検討小委員会の回数と資料番号）

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	時期未定※1
回線	専用線　または 簡易指令システム	専用線　または 簡易指令システム	専用線　または 簡易指令システム	同左	同左	
商品ブロック	3時間	3時間	30分 26回資料4			
応動時間	45分以内	45分以内	60分以内 26回資料4			
継続時間	商品ブロック時間 (3時間)	商品ブロック時間 (3時間)	30分 26回資料4			
指令間隔	1~30分※2	1~30分※2	1~30分※2			
最低入札量	専用線　5 MW 簡易指令 1 MW	1MW 37回資料5	1MW			
アグリゲーション （専用線）	–	–	–			ネガ/ポジ /ネガポジ※3, 4 26回資料3
アグリゲーション （簡易指令）	ネガ/ポジ/ネガポジ※4 22回資料3	ネガ/ポジ/ネガポジ※4	ネガ/ポジ/ネガポジ※4			

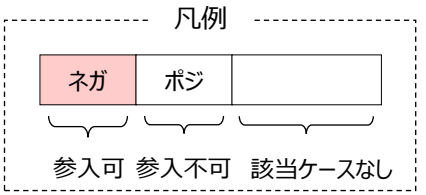
※1 変更の方針が決まっているもののみ記載しており、適用時期が決まり次第、需給調整市場検討小委員会等で公表
※2 30分を最大として、事業者が収集している周期と合わせることも許容
※3 出力変化量による指令は、事業者からの申込み状況に応じた中給システム改修完了後に適用開始予定
実出力値による指令は、中給システムの抜本改修の際に、事業者ニーズを踏まえて検討（2027年度以降）
※4 ポジ・ネガポジ型は、単体では最低入札量に満たないリソースをアグリゲートして市場に参入する場合のみ

需給調整市場に参入が可能なリソースおよび応札形態（発電リソース）

■ 主なリソースが需給調整市場に参入可能となる時期は以下のとおりです。
（赤字：審議された需給調整市場検討小委員会の回数と資料番号）

リソース・応札形態	商品	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	時期未定※1
発電リソース（1MW※2以上） 単独で応札	三次②	ポジ	ポジ	同左	同左	
	三次①	ポジ	ポジ			
	二次②	–	ポジ			
	二次①	–	※専用線のみ ポジ			
	一次	–	※専用線またはオフライン枠 ポジ			
発電リソース（1MW※2未満） アグリゲーションで応札	三次②	※簡易指令のみ, ※3 ポジ	※簡易指令のみ, ※3 ポジ	同左	同左	
	三次①	ポジ	※簡易指令のみ, ※3 ポジ			
	二次②	22回資料3、 26回資料3	※3 ポジ 19回資料3、26回資料3			
	二次①	–	※専用線のみ ポジ			
	一次	–	※専用線またはオフライン枠 ポジ			

※1 変更の方針が決まっているもののみ記載しており、適用時期が決まり次第、需給調整市場検討小委員会等で公表
※2 値は契約受電電力
※3 専用線での参入について、出力変化量による指令は、事業者からの申込み状況に応じた中給システム改修完了後に適用開始予定
実出力値による指令は、中給システムの抜本改修の際に、事業者ニーズを踏まえて検討（2027年度以降）

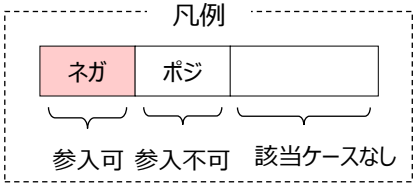


需給調整市場に参入が可能なリソースおよび応札形態（ネガポジ型リソース）

■ 主なリソースが需給調整市場に参入可能となる時期は以下のとおりです。
（赤字：審議された需給調整市場検討小委員会の回数と資料番号）

リソース・応札形態	商品	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	時期未定※1
ネガポジ型リソース（1MW未満） アグリゲーションで応札	三次②	※簡易指令のみ, ※2 ネガ ポジ ネガポジ	※簡易指令のみ, ※2 ネガ ポジ ネガポジ	同左	同左	
	三次①	※簡易指令のみ, ※2 ネガ ポジ ネガポジ	※簡易指令のみ, ※2 ネガ ポジ ネガポジ			
	二次②	22回資料3	※簡易指令のみ※2 ネガ ポジ ネガポジ 19回資料3、26回資料3			
	二次①		※専用線のみ ネガ ポジ ネガポジ			
	一次		※専用線またはオフライン枠 ネガ ポジ ネガポジ			
ネガポジ型リソース（1MW以上） 単独で応札※3 34回資料4	三次②	ネガ ポジ ネガポジ	ネガ ポジ ネガポジ	同左	同左	
	三次①	※4 ネガ ポジ ネガポジ	ネガ ポジ ネガポジ			
	二次②		ネガ ポジ ネガポジ			
	二次①		※専用線のみ ネガ ポジ ネガポジ			
	一次		※専用線またはオフライン枠 ネガ ポジ ネガポジ			

※1 変更の方針が決まっているもののみ記載しており、適用時期が決まり次第、需給調整市場検討小委員会等で公表
※2 専用線での参入について、出力変化量による指令は、事業者からの申込み状況に応じた中給システム改修完了後に適用開始予定
実出力値による指令は、中給システムの抜本改修の際に、事業者ニーズを踏まえて検討（2027年度以降）
※3 ネガポジ型として応札可能な商品は、基本的にネガワット側とポジワット側でいずれも応動可能な商品とする。
ただし、ネガワット側またはポジワット側の片側で応動可能な商品がない場合は、もう片側が二次②から三次②に応動可能であれば、ネガポジ型として二次②から三次②に応札可能とする。（片側が応動不可能な場合、一次、二次①への応札は不可）
※4 実出力指令によるネガポジへの参入は2023年度から可能。出力変化量指令によるネガポジへの参入は2024年度以降可能。



需給調整市場に参入が可能なリソースおよび応札形態（需要リソース）

■ 主なリソースが需給調整市場に参入可能となる時期は以下のとおりです。
（赤字：審議された需給調整市場検討小委員会の回数と資料番号）

リソース・応札形態	商品	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	時期未定※1
需要リソース アグリゲーションで応札	三次②	※簡易指令のみ, ※2 ネガ	※簡易指令のみ, ※2 ネガ	同左	同左	
	三次①	※簡易指令のみ, ※2 ネガ	※簡易指令のみ, ※2 ネガ			
	二次②	–	※簡易指令のみ, ※2 ネガ 19回資料3、26回資料3			
	二次①	–	※専用線のみ ネガ			
	一次	–	※専用線またはオフライン枠 ネガ			

※1 変更の方針が決まっているもののみ記載しており、適用時期が決まり次第、需給調整市場検討小委員会等で公表
※2 専用線での参入について、出力変化量による指令は、事業者からの申込み状況に応じた中給システム改修完了後に適用開始予定
実出力値による指令は、中給システムの抜本改修の際に、事業者ニーズを踏まえて検討（2027年度以降）

